

ボジョレー速報 2017年

今年もボジョレーヌーヴォーの季節がやってくる！

2016年は、霜、雹、そして長雨によるミルデュー被害の三重苦により、大幅な収量減に悩まされたが、後半から収穫にかけて天気に恵まれたおかげでブドウも熟し、最終的にヌーヴォーらしいチャーミングなワインに仕上がった年だった。

さて、2017年は、4月終わりから5月初めにかけて、ロワール、ジュラ、ボルドー、南仏、ブルゴーニュ等広域で遅霜の被害を受けるといふ、前代未聞の幕開けとなった。ボジョレーでも南の方が遅霜にあったが、どうやら3生産者とも幸いにしてギリギリ免れ、良いスタートを切っているようだ！そして、現在は連日の猛暑によりブドウの成長サイクルは例年より1ヶ月ほど早いペースで成長している。リリース期限が決まっているヌーヴォーにとって、仕込みに時間を掛けられることは、品質向上のメリットがある！

暑くなれば雹のリスクが高まるなど、まだまだ気の抜けない段階ではあるが、この先も安定した天候が続くことを願っている！

☆ カリーム・ヴィオネ

2016年の終わりに、プリムール用に標高350m付近にあるランティニエのコミューンに40aの畑を手に入れた。樹齢は48年のヴィエーユ・ヴィーニュで、さらに周りの一部が木々に囲まれていて、他の生産者の畑が隣接していないことがアドバンテージだ！前所有者が高齢により畑管理が十分にできなかったことから、畑譲渡の話が回ってきたそうだが、最初は雑木が生い茂るジャングルのような畑だった！年初にその雑木を鋤とチェーンソーを使って伐根し、写真のような状態まできれいにした！今のところ雑木という競争相手のいなくなったブドウの木は、何も問題なくすくすくと育っている。開花は例年よりも2~3週間早く、ランシエなど早いところで6月6日にはすでに始まっている。ランティニエも6月9日頃に開花が始まった。今年の収穫は、このまま何もなく良い天候が続けば8月の終わり、9月頭には開始しているだろう。



新たに取得したランティニエの畑



開花は何の問題もなく終了

☆ ジャン・フォワヤール

今年の開花は6月6日頃から始まった。例年よりも2週間ほど早い開花だが、最近のように日中の気温が連日35℃を超えるような快晴が続けば、2015年のように8月の収穫もあり得るだろう。今年は春の初め気温が暖かったことで、ブドウの芽吹きが早かったが、4月終わりから2週間ほど寒さが続き、いったんブドウの成長にブレーキがかかった。この時最大マイナス2度まで気温が下がることがあったが、幸いにも遅霜の被害はなかった。その後5月19日にコート・ド・ピュ周辺に雹が降ったが、これも幸いまだ開花前で枝も小さく被害はほとんどなかった。今のところ病気は一切なく、2016年の不作の反動なのか、ブドウの房もたくさんあり、このまま何も問題

がなければ大豊作が期待される！ただ、一方では、夏でもないのにすでに 30 度を超えるような天気が続くことは、今後雹や日照りを招くリスクがありちょっと心配だ…。



ジャンのヌーヴォーの畑



ブドウは健全で収量も期待できる

☆ フレデリック・コサル&ケヴィン・デコンブ

連日猛暑が続き、日照りが心配ではあるが、それ以外は全く問題がなく、ブドウはまるで 2015 年を彷彿させるような素晴らしい状態を保っている！開花は、標高が最も高いマルシャン村の畑でも 6 月 10 日に始まり、その他の畑も順調に続いている。2016 年は、収穫が間に合わずマルシャン村のブドウはヌーヴォーに回すことができなかったが、今年はこのペースで行けば、昨年よりも 3 週間早い 9 月 8 日前後には収穫できるので、問題なく仕込めるだろう。

今のところ、昨年のヌーヴォーに使用したクリュ・ボジョレー・レーニエに隣接するブドウもマルシャン村のブドウもどちらも霜の被害に遭わず、開花も順調で豊作が期待できそうだ。品質的には酸のエレガントなマルシャン村のブドウと、骨格豊かなレーニエに隣接するブドウをアッサンブラージュし、例年以上にハイレベルな・ヌーヴォーを造るつもりだ！



レーニエに隣接するヌーヴォー用の畑



ブドウの様子を確認するケヴィン

3 生産者共に遅雹の被害に当たらなかったことはとても良いニュースだ！このまま順調に行けば、質・量ともに 2015 年のような当たり年となる可能性が期待できる！次回のレポートもどうぞ期待ください♪

2017 年 6 月 12 日訪問レポート